第 74 回理事会議事録

１．日　時：2021 年 8 月 27 日（金）18 時 30 分～19 時 40 分
２．議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
３．議事参加者：【理事 11 名】　鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、久保公人、齋藤陽子、
寺本直志、橋本公二、古川京司、柳澤彰子、山田和彦、
吉田正
【監事 2 名】　関口修、正村祐一
【事務局 3 名】　高野英樹事務局長、大政哲人国際交流事業部長、
仲村篤志競技会事業部長
（理事現在数：12 名、定足数 7 名、本人出席 11 名）

４．議事の経過及び結果
鳩山会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案　第 72 回および第 73 回理事会議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案　会員の退会について
以下の会員の逝去が報告された。
山口知也（8295）

第 3 号議案　各委員会及び事業部報告
１．企画委員会
寺本企画委員より 7 月 14 日の企画委員会について以下の報告があった。
7 月 12 日から発出された緊急事態宣言および東京都からの要請の内容は、ブリッジセンターを含む遊技施設に対しては夜 8 時までの時短に関するものであった。そのため 7 月 22 日からの第 30 回朝日新聞社杯は予定通りの開催とした。
センター・クラブを訪れた人が後日に陽性となったケースは昨年 12 月以降発生していなかったが、6 月後半から 7 月頭にかけて 3 名発生した。
JCBL 主催試合の担当スタッフは事前に PCR 検査を受けることとし、藤山杯から実施した。
センター・クラブ関係者、ディレクタ、講師などの競技会および講習会関係者が感染者もしくは濃厚接触者となった場合は、センターと情報共有を行っていくこととした。
感染者の濃厚接触者となりその旨保健所から通知されていたにも関わら

ず、主催センターに未報告のままセクショナルのディレクタ業務を通知の翌日に行った事例が報告され、対応について検討した。懲戒規則に基づいて聴聞を実施し事実関係の整理を行い、理事会で審議する方向性を確認した。

2．センター協議委員会

浅越センター協議委員長より7月27日のセンター協議委員会について以下の報告があった。

各センターとも、プレイヤーのワクチン接種はかなり進んでいる手応えがある。感染防止対策についてはプレイヤーからの意見、苦情はあまりなく、現在大きな問題はないと思われる。

平日セクショナルの開催回数を特定の月に1ヵ月2回まで現在増やしていることについては、継続を希望する声が多くを占めている。

首都圏センター会議から、JCBLに対してさしあたっての要望はなく、コロナが落ち着いてきたら中長期的なことについてセンター側の意見を整理しJCBLと相談を行いたいとの説明があった。

3．競技委員会

寺本競技委員長より8月5日に開催された第272回競技委員会について以下の報告があった。

公認ディレクタ規則第8条に従い、1名のディレクタ資格の取り消しを行った。

4．普及事業部

齋藤普及事業担当理事より以下の報告があった。

ブリッジを知らない方向けの普及用イメージ動画の製作を6月にプルークス株式会社に依頼し、8月に完成した。約3分間の動画で、各センターの体験教室で活用するほか、Youtubeへの掲載を行っていく予定である。Youtubeのアカウントの申請を現在行っている。

5．競技会事業部

山田競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

6．法人・管理部

寺本法人・管理部担当理事より7月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、月次収支実績、およびクラブ勘定の残高について以下の報告があった。

月次収支については、6月は日本リーグ開催があり約180万円の黒字、7月は朝日新聞社杯のテーブル数が増えなかったことが響き約100万円の赤字であった。どちらも申請予定の雇用調整助成金およびスポーツ庁の助成金は含んでいない。新型コロナウイルス感染症の影響は続いているものの、経費の削減に努めてやりくりしている状況である。クラブ勘定の

残高については問題がない。

第 4 号議案　その他の議案

1. 次回理事会開催について
   次回理事会は 2021 年 10 月 22 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより開催する

2021 年 8 月 27 日
公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟
第 74 回理事会
代表理事　　嶋山 勝郎

監　　事　　関口　修

監　　事　　正村　祐一

議事録作成者　寺本直志